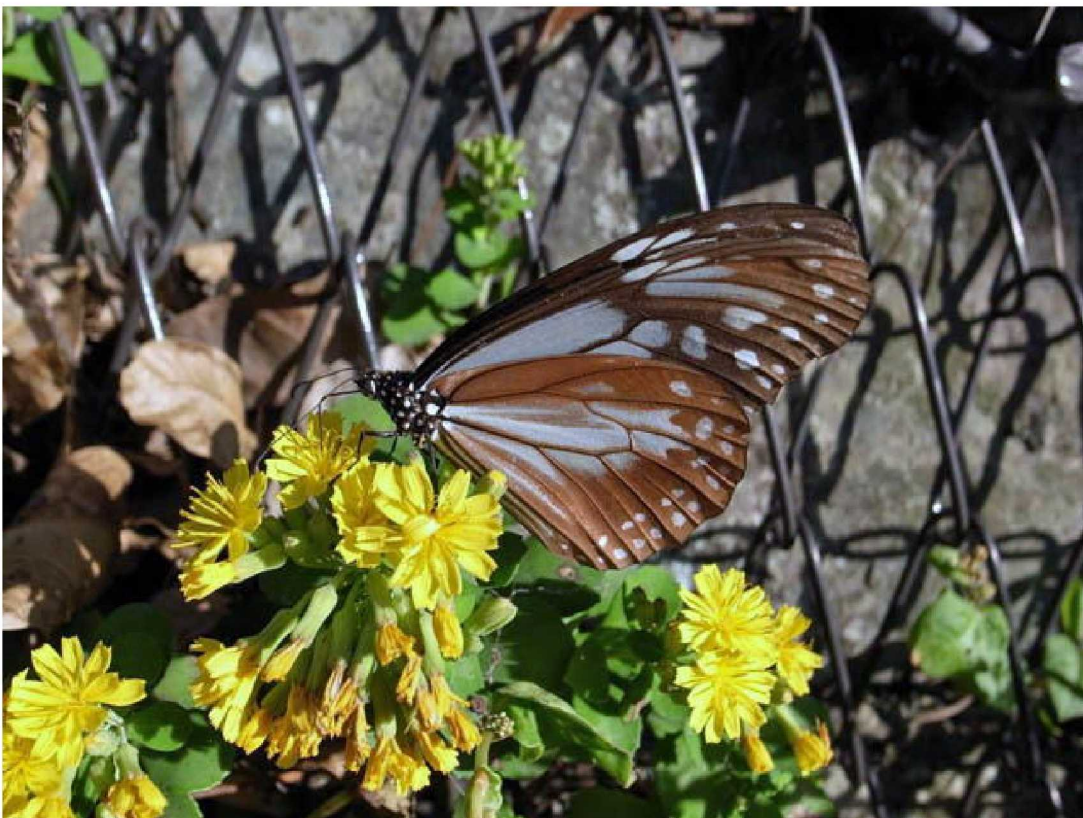
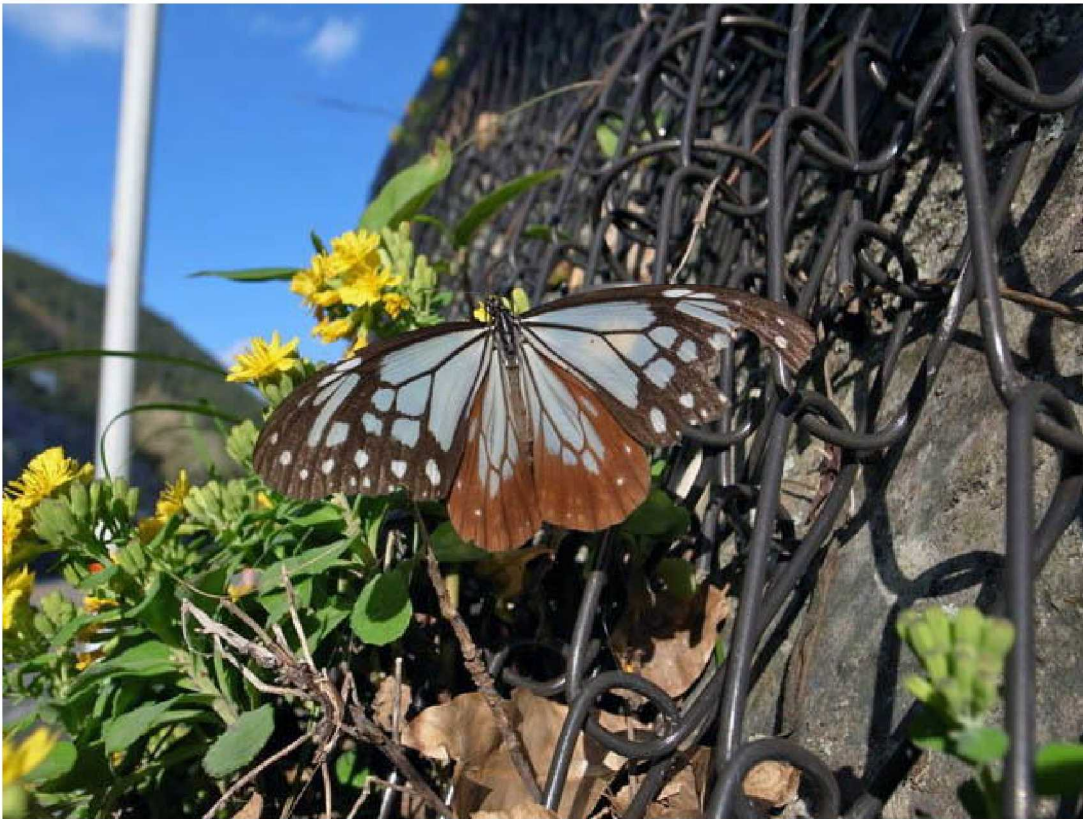


「今月の1枚」



アサギマダラとアゼトウナ

アサギマダラ（浅葱斑、タテハチョウ科、*Parantica sita*）

アゼトウナ（畔唐菜、キク科、*Crepidiastrum keiskeanum*）

アサギマダラはこの時期、室戸岬周辺で数多く見られる大型のチョウです。

マーキング調査によって秋には標高の高い山地から低地へ、また日本本土から南西諸島や台湾へと長距離移動することがわかっています。写真の個体も長い移動の途中なのか、翅が傷んで欠けてしまっています。

無事に目的地まで飛んで行って欲しいものです。

アゼトウナは西日本の海岸ではふつうにみられる多年草です。

海岸で岩の隙間によく生えています。冬になっても12月ぐらいまでは花が咲いているようです。

ちょっと肉厚の葉をもっています。この時期、室戸岬ではアゼトウナ、シオギク、ツワブキなど黄色のキク科の花がたくさん見られます。

(写真・文：大谷達也、2014年11月19日、高知県室戸市室戸岬にて撮影)

(No.250 2014.11.25 掲載)